

日本語ボランティア研修会が開かれました

中村松男(日本語教室部会)

2023 年度第 2 回日本語ボランティア研修会が 12 月 18 日(月)に開かれました。

今回の講師は文化庁の日本語教育に関する講師やアドバイザーをされ、また今年度の日本語教室部会のボランティア養成講座の講師をされた吉田聖子先生でした。テーマは「入門レベルの対象者に合わせた具体的な支援の方法」(児童生徒向け・成人向けそれぞれに対して)です。

参加者は 32 名。ボランティア経験年数や、教えている学習者の日本語レベルも様々ですが、6 つのグループにわかれて、課題が出される都度、経験談や意見を交換しながら先生の説明に耳を傾けました。

まずウォーミングアップとして、習志野市在住 2 か月の外国人が経験する 3 つの日常的な場面を想定し、それぞれどんな日本語の力が必要になるかを考え、議論しました。ここでは、日本語の「聞く、話す、読む、書く」能力だけでなく、ジェスチャーやいろいろな文字や記号・イラスト・スマホの活用など、

様々なものが使われていることを確認しました。

次に、文化庁や国際交流基金などが提供している日本語学習支援の様々なウェブサイトやアプリなど最新の教材(ツール)が紹介されました。これらの支援ツールは 14 言語で利用可能であり、例えば、学習者が動画を見るなど自分のペースで自習し、我々ボランティアはその進み具合を確認したり、補完するといった活用例も有効だとヒントをいただきました。

また、大人と子どもの違いに関しては、それぞれ児童生徒、親、社会人、保護者と立場や世界が多様で、相手や場面に応じて使う日本語も異なることを念頭に置き、学習者や学習者のニーズの個別事情を確認・理解しながら進めるようアドバイスをいただきました。

参加者は、最新の教材(ツール)を紹介いただいたことや、具体的な内容だったことにととても満足していました。



グループにわかれて課題に取り組む参加者のみなさん



講師の吉田聖子先生